

# 持続可能で満足度の高い 国際文化観光都市を目指して

京都市 産業観光局  
観光MICE推進室

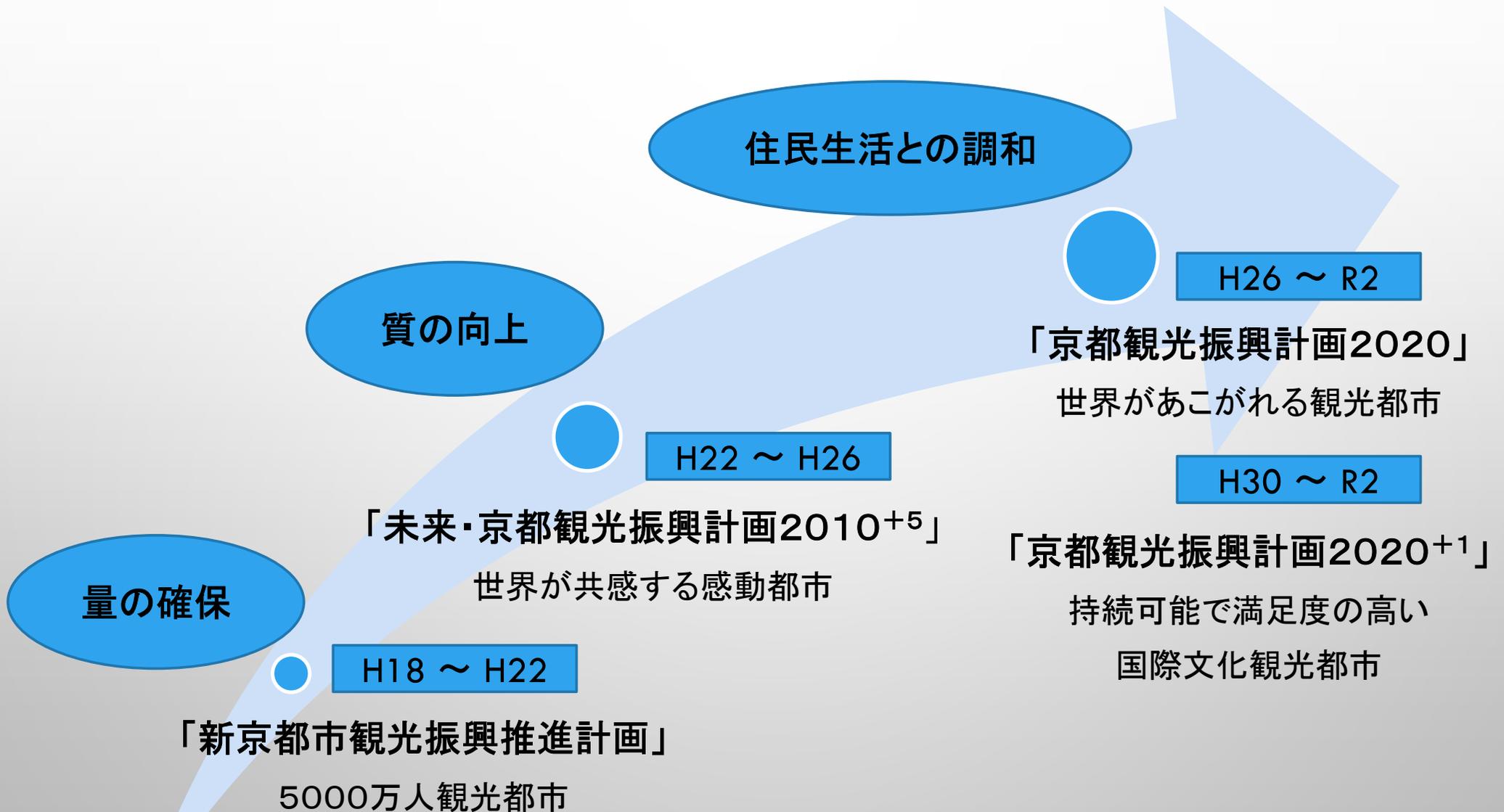


京都市  
CITY OF KYOTO

# 1. 京都市の観光の現状

# 京都市の観光振興計画

量の確保から、質の向上、そして住民生活との調和へ



# 「令和元年 京都観光総合調査」の結果【概要】

・観光消費額：**1兆2,367億円**

→ 平成26年（現計画策定時）の  
7,626億円から**約1.6倍**に増加

※令和元年に統計手法の変更があったため、参考数値

・観光客数：**5,352万人**

→ 日本人観光客：4,466万人  
外国人観光客：886万人

日本人観光客が**83.4%**

※外国人観光客については京都府訪問者を京都市訪問者とみなし、JNTO「訪日外客数」に観光庁「訪日外国人の消費動向調査」の京都府訪問率を乗じて算出

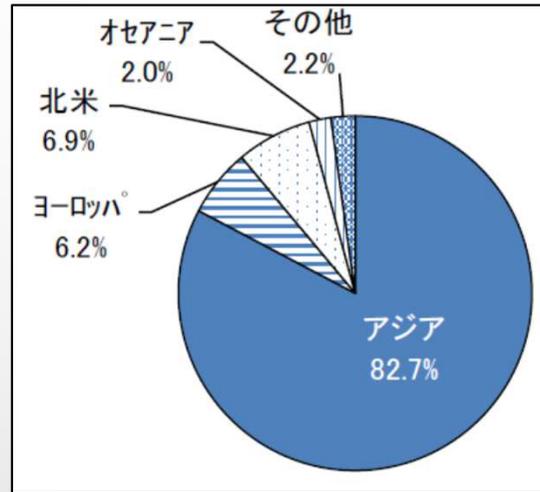
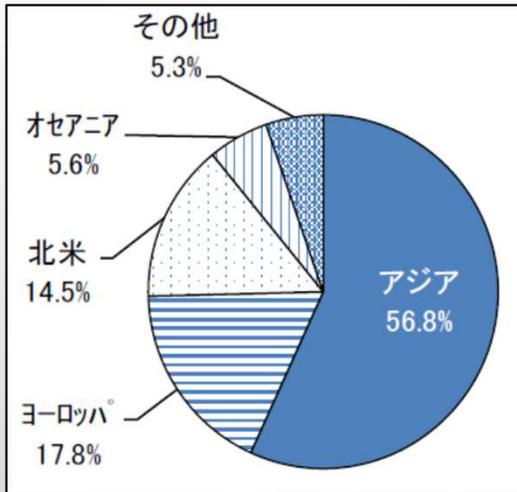
・宿泊客数：**1,317万人**

・観光客の満足度：**日本人，外国人ともに90%以上**  
（「大変満足」～「やや満足」の合計）

# 京都を訪れる観光客の特徴

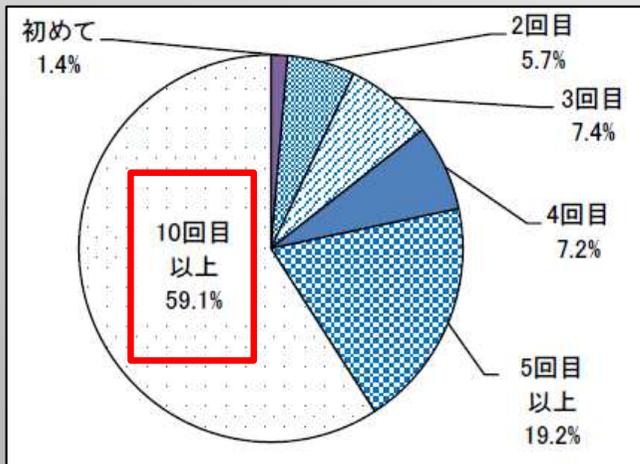
## ・「京都市外国人宿泊客割合」と「訪日外国人客数割合」の比較

出典：日本政府観光局(JNTO)「国・地域別 訪日外客数」

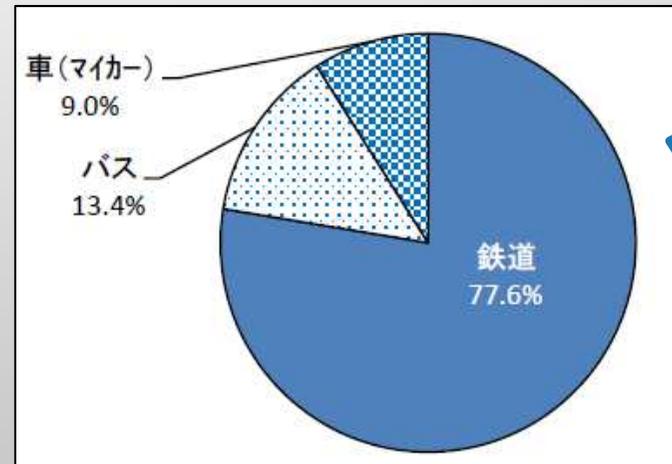


京都市は、全国と比べて、欧米豪の割合が高い傾向

## ・日本人観光客の訪問回数の割合



## ・日本人観光客の入洛利用交通機関の割合



マイカー利用は、25年前の41.7%から減少傾向

# 京都市内主要ホテルの客率稼働率及び外国人比率の推移



出典：公益社団法人 京都市観光協会 データ月報

## 2. 京都観光の課題とその対策

# 京都観光の課題

## 【京都観光をとりまく環境が大きく変化】

### ○一部観光地の人気が増加

→ 清水・祇園周辺への訪問率（日本人） 平成25年：34.8% 令和元年：53.9%

### ○外国人観光客の急増

→ 平成30年までの5年間で、外国人宿泊客は約4倍、450万人まで増加

### ○旺盛な宿泊需要に対応した宿泊施設の急増

→ 令和元年度末までの5年間で、総客室数は約1.8倍、約5万3千室まで増加

## 【京都観光の課題が発生】

### ○一部の観光地・市バスの混雑

### ○観光客のマナー問題

### ○違法民泊問題

# 京都観光の課題への対策

「市民生活と調和した持続可能な観光都市」の実現に向けた基本指針と具体的方策  
(令和元年11月)

## 【目指す姿】

「市民の安心・安全，地域文化の継承を最重要視した市民生活と観光の調和」

## 【主な取組】

### ●混雑への対応

- ・観光快適度の見える化による分散化事業の拡大(令和元年9月～)
- ・市バスにおける各種割引乗車券の抜本的見直し(令和2年度～)

### ●宿泊施設の急増等に伴う対応

- ・市民の安心・安全，地域文化の継承を重要視しない宿泊施設はお断り(令和元年度～)
- ・地域とともに地域活性化に取り組む宿泊施設の支援(令和元年7月～)

### ●観光客のマナー違反への対応

- ・旅行業界等に対して，オール京都での協力要請(令和元年9月～)
- ・マナー啓発ステッカー，マナー動画の作成(令和元年9月～)

### ●市民生活の豊かさ・地域文化の継承へ市民の共感の輪の拡大

- ・市民・観光客・事業者の満足度を高める宿泊税の活用(課税開始：平成30年10月～)



# 3つの集中（時期，時間，場所）の分散化

閑散期と繁忙期の観光客の差（平成15年：3.6倍）の改善等のための取組を実施

## 時期の分散化

○イベント施策の実施 など



令和元年の繁閑差は  
1.3倍まで減少

## 時間の分散化

○朝・夜観光の推進 など



二条城  
夏の早朝観光  
(7,8月)が大好評



写真提供：京都市×ぐるなび×ぐるたび

## 場所の分散化

○地域と事業者との連携

- 地元関係者，民間事業者等と「プロジェクトチーム」等を通じて推進。
- 伏見，大原，高雄，京北，西京，山科エリアの隠れた魅力の発掘・発信  
「とっておきの京都プロジェクト」



○各エリアの取組の支援

- 多様なエリアの奥深い魅力を発掘・発信
- 市内全域への観光客の分散化と地域活性化
  - ・コンテンツ・商品開発
  - ・地域のブランドプロモーション
  - ・受入環境整備

○特定地域における周遊性の向上

- 嵯峨嵐山エリアにおける周遊促進の実証事業
- 「観光快適度」の見える化事業

# 市バスの混雑緩和に向けた取組

## ■ 地下鉄・バス一日券の積極的なPR（価格見直し） → 市バスから地下鉄への利用促進



3割減

バスのみ

バス一日券  
大人500円→**600円**

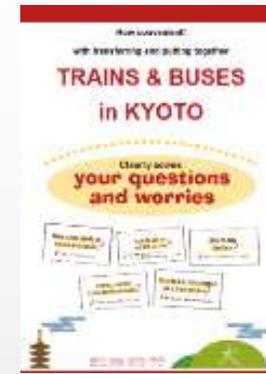


3倍増

バス  
+  
地下鉄

地下鉄・バス一日券  
大人1,200円→**900円**

## ■ 外国人利用者に向けた「京都の電車・バス」の利用案内



## ■ 市バス混雑緩和に向けた前乗り後降り方式の導入



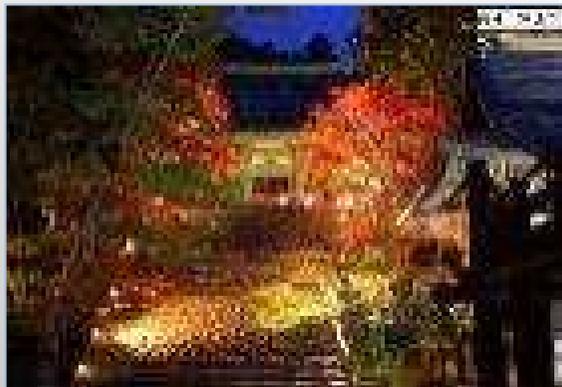
洛バス100系統  
京都駅前～五条坂  
～祇園～銀閣寺前  
土日76便/日

・乗車時に精算するため、京都駅前  
は停車時間が延びたが、途中バス停  
の停車時間は11.5秒減少

# 「とっておきの京都～定番のその先へ～」プロジェクト

地域や民間事業者と連携し，隠れた名所の魅力を発掘・活用することにより，市域全体への観光客の誘客を促進させ，地域の活性化に繋げるとともに，観光客の満足度の向上を図る

魅力ある多様なエリアへの送客促進



京北エリア

大原  
エリア

高雄  
エリア

西京  
エリア

山科  
エリア

伏見  
エリア

# 民泊対策

- 「民泊」対策プロジェクトチームを設置（平成27年）
  - 「民泊通報・相談窓口」を設置（平成28年）
- 全国に先駆けて、違法民泊対策を実施
- 地域実情に沿った形で、民泊新法に基づく条例を定め、厳格な運用を実施

## • 京都市の「民泊」に関する主なルール

**ルール①** 開業前の近隣住民への説明と標識の掲示

**ルール②** 宿泊者に対する、騒音やゴミ出し、火の取扱い等に関するルールの説明

**ルール③** 昼夜を問わず、概ね10分以内の管理者の駆け付けと緊急連絡先の公開

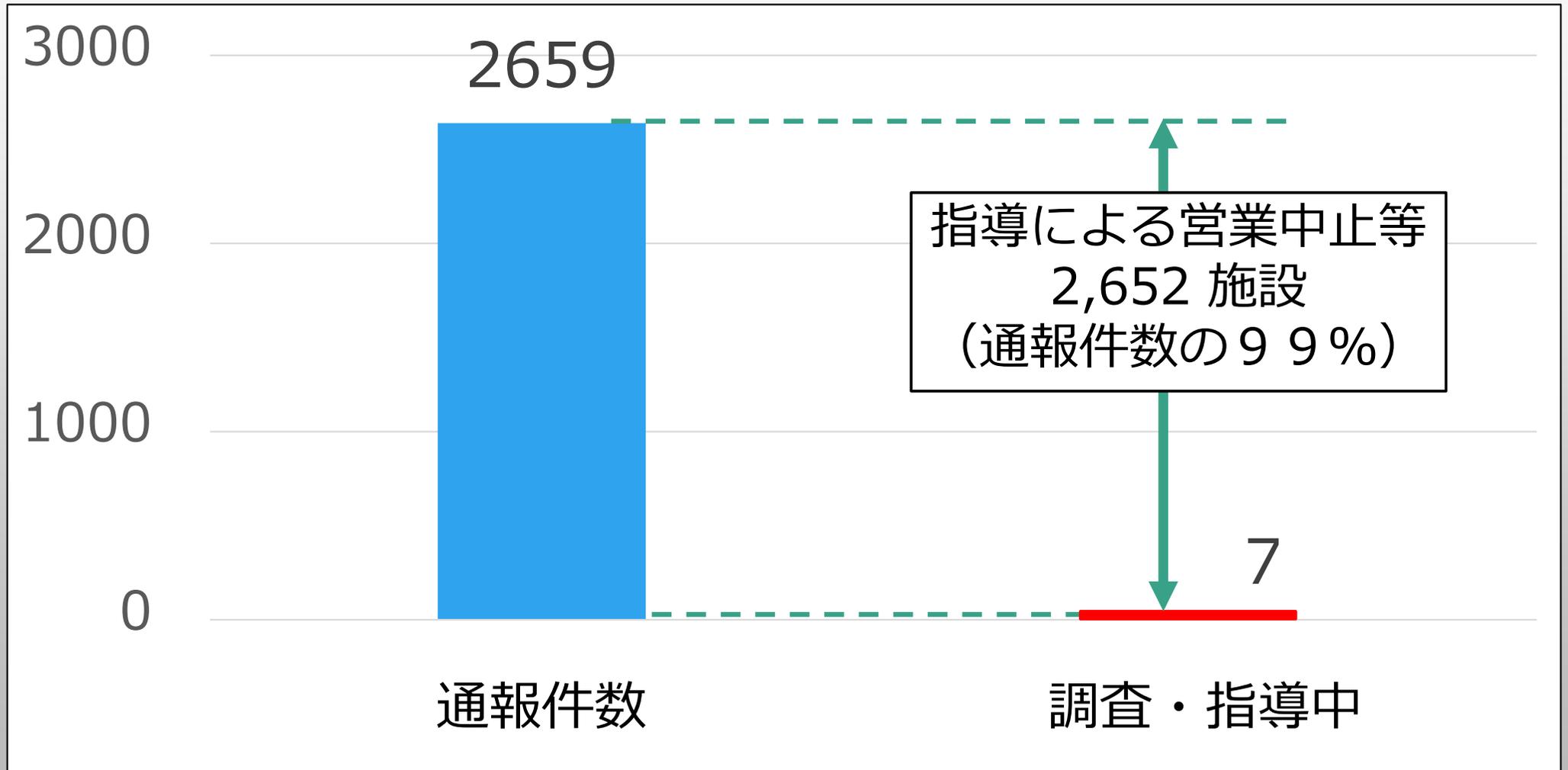
**ルール④** 住居専用地域での営業期間の制限（1月中旬～3月中旬に限る）



# 民泊対策

無許可営業疑いの宿泊施設への指導 (平成28年からの累計)

(施設数)



令和2年10月末

# マナー啓発の取組

- 航空機内誌へのマナー記事掲載や、リムジンバス車内におけるマナー情報掲示などの入洛前の啓発を実施
- マナー啓発ステッカー、動画の作成のほか、民間事業者と連携したリーフレットの作成によるマナー啓発や、市民や地域によるマナー向上を呼び掛ける取組等を実施



- トリップアドバイザーと連携して、日本・京都で守って頂きたい習慣やマナーを紹介したリーフレット（英語・中国語（簡体））とポスター（英語）を作成。



- 祇園町南側地区協議会において、外国人観光客等にイラストでマナー向上を呼びかける高札を作成。



- マナー啓発のためのステッカーを作成。

# 3. 京都観光の方向性

# 京都観光の回復に向けて

・感染症予防・拡大防止を徹底することにより、市民・観光客双方にとって安心・安全な環境を整えるとともに、観光課題解決先進都市として、市民生活や地域文化をより重視し、市民が豊かさを感じられる観光を目指しながら、国内の観光客、そして海外の観光客というように、徐々に観光の再開を図ることで需要の回復につなげ、関連産業を含めた幅広い事業者の経営が正常化するよう取り組んでいく。

## 徹底した感染症予防・拡大防止対策と観光の両立

市民の安心・安全と観光に訪れる方の安心・安全を確保することで、安心して京都の魅力を満喫していただけることを目指す。

## 市民生活・地域コミュニティと観光の更なる調和

市民生活と観光の調和を図り、市民生活の豊かさにつなげることを目指す。

# 徹底した感染症予防・拡大防止対策と観光の両立 ～主な取組例～

## • 京都観光における新型コロナウイルス感染症対策の ガイドラインを策定

京都で観光に携わる23の業界団体と作成

## • 「地元応援！ 京都で食べよう，泊まろうキャンペーン」

市民へ，市内の飲食店や宿泊施設の利用を促すことで，市内の魅力を再認識していただくとともに，市内の消費を盛り上げ，京都経済の回復につなげる



# 市民生活・地域コミュニティと観光の更なる調和 ～主な取組例～

## ・「京都まちけっと」

- 京都市観光協会と日本たばこ産業（JT）が連携し、ウィズコロナ時代の観光様式に対応した、新しい京都のまちのマナーやエチケットを共同で探求するプロジェクトを開始



## ・事前予約型の観光コンテンツの造成，発信

# 観光快適度の見える化

- **ビックデータ**をもとに、京都市内の7つのエリア内の観光スポット周辺の観光快適度を予測し、公式ホームページ「京都観光N a v i」において5段階で表示
- **リアルタイム**の状況を確認しながら、混雑する時間を避けて観光していただけるよう、ライブカメラの映像の配信も順次スタート
- 快適に観光できる時期・時間帯での訪問や、周辺の魅力的な観光スポットへの回遊を促すなど、観光需要をマネジメントし、**より一層の分散化を図り、安心・安全・快適な観光を推進**
- 利用者に対して、ホームページ上で**観光快適度と実感との乖離**についてアンケートを行うことで、予測の精度を向上

【トップページのイメージ】



エリア	スポット
嵯峨・嵐山	渡月橋北詰 竹林の小径
祇園・清水	花見小路 清水坂
伏見	伏見稲荷大社付近
衣笠・北野・西陣	金閣寺道付近 北野天満宮前付近
哲学の道・岡崎	哲学の道北端 岡崎公園
市内中心部	錦市場
京都駅周辺	京都駅前バス乗り場

【スポットの予測・ライブカメラのイメージ】



# 京都観光行動基準（京都観光モラル）の策定

- 今後、京都観光に関わる全ての皆様が、お互いを尊重しながら、持続可能な京都観光を、共に創りあげていくことを目指す。
- 京都観光の意義等を記した「理念」編と観光事業者・従業者等、観光客、市民の皆様大切にしていたいただきたい行動を記した「行動基準」編で構成



# 次期観光振興計画の策定に向けた審議会の開催

- 現計画である「京都観光振興計画2020」の取組期間が、令和2年度末で終了するため、次期観光振興計画の議論を実施。
- 様々な危機に対応し、地域や社会の課題解決に貢献していく持続可能な観光を目指す。



# 次期観光振興計画の策定に向けた審議会の開催

## 2030年に実現する5つのまちづくりと観光

(現在検討中)

- (1) 市民生活と観光の調和が図られ、市民が豊かさを実感できる。
- (2) あらゆる主体が京都の「光」を磨き上げ、観光の質を高める。
- (3) 観光の担い手がより活躍し、観光・文化分野での起業・事業創出が盛んになり、都市の活力向上や文化の継承に寄与する。
- (4) 感染症や災害などの様々な危機に対応できる、しなやかで力強く、安心・安全で環境に配慮した持続可能な観光を実現させる。
- (5) MICE都市としての魅力を確立し、世界の人々が集い、多様性を認め合い、世界平和に貢献するまちになる



ありがとうございました

